今回の留学によって得られたと感じる「学び」や「成長」、そして、「成果」について書いてください。

この留学を通じて、韓国の文化、習慣を学びながら日本との違いを感じ、異なる価値観を身に着けることができました。

韓国は日本とは違い間接的な表現をせず直接的に表現するため、最初は戸惑うこともありました。そして、私のはっきり自分の意見を言わないことから友人も困ったことがあったと言われたこともありました。日本では、はっきり意見を言ってこなかったのですが、韓国留学したことではっきり意見を言わないといけないという意識に変わりました。はっきり意見を言うことによって、本音を直接聞き取ることができるため、勘違いも生まれず、より仲が深まることもあと気づくことができ、大きな学びとなりました。

また、韓国は日本よりも縦社会の文化が強いため、家族間でも両親には敬語を使う人もいました。日本では、先輩と後輩の間でも、親しくなれば敬語を使わなくなることがありますが、韓国では特に男性同士の中では、敬語を使わなくなるとはなかったように思います。

これらのこともあり日常生活から、韓国語の「敬語」と「ため口」両方学ぶことができました。韓国留学から、「親しき中にも礼儀あり」ことわざを感じることができ、異文化対応を学ぶことができました。

そして、韓国では何事も早くする文化「パリパリ文化」を直接感じられたように思います。私自身もいつの間にか何事も早くするようになっていました。留学中の月間報告書作成や、歩くスピード、何事にも準備するスピードなど、至る所で早くなっていると感じました。

早くすることは、その前の行動などを考えるため計画性にも影響しました。これは留学前から考えると大きな成長だと思います。

このように留学を通して、韓国の文化に触れ、異文化理解し、自分の成長に繋がられてたことは、この留学による大きな成果の一つだと思います。

今後の目標について書いてください。

留学中に韓国語をはじめ、英語、日本語の勉強をして、楽しさに気づきました。そのため、韓国語をこれからも続けて勉強していき、最終的にはTOPIK6級を目指したいと思っています。

また、英語も勉強しTOEICにも挑戦したいと思っています。そしてたくさんの世界の人たち、留学中に会った友人とも縁を切ることなく交流し続けることで、もっと視野を広げ、異文化理解を深め、これからの社会で必要となる多様な考え方、感じ方ができる人間になることが、今後の大きな目標です。

また、韓国で大きく影響を受けた「パリパリ文化」により、先を見越して計画を立てられるようになりました。今後も先を見越し計画をたてることを維持し、就職活動を行っていきたいと思っています。

履修・教務、学修面について

(例)以下のことを参考に記入してください。

- どのように学修に取り組んだか。どのような学修が効果的だったか。
- 特に有益だった受講科目について。

初回の授業を参加したときにクラス分けのレベルテストがありました。そのテストの次の日に「外国人のための韓国語」は月曜日から金曜日まで12時から15時と決められました。その授業以外にも一つ他の授業を取ることを進められたので、「メディアで学ぶ韓国語」を履修しました。「メディアで学ぶ韓国語」はTOPIK3級を持っている人のレベルだったので私には難しい授業でした。

私は語学堂での授業も選択したため、11月末から語学堂の授業も始まりました。自分の韓国語のレベルも上がり進むスピードも早く、授業が終わっても勉強することが増えました。

語学堂は9時から13時、月曜日から金曜日の授業日程でした。

学部授業と語学堂の授業が1週間ほど重なった時期がありました。学部授業を優先するようと言われたため、語学堂を11時まで受けて12時から学部授業を受けました。学部授業のテスト週間でも語学堂に出席し、その週間が勉強面において1番勉強量が多く疲れしました。語学堂は学部授業より発言することが多く、積極的に発言するようにしました。学部授業、語学堂どちらともわからないことがあるとすぐに聞けるよう前に座るようにしていました。

クラスは日本人が一人もいないため、外国人留学生と韓国語で話していました。その友人に時々英語を教えてもらったり、食事を一緒にしていました。韓国語で互いに母国語を教え合うことができるため大変いい経験になりました。このような活動があれば、積極的に関わっていくことが大切だと感じました。学部授業、語学堂の授業は、外国人が韓国語を勉強しているため、韓国人学生と関わることはなかったです。そのため、私は「言語交換プログラム」に参加しました。日本語に興味がある韓国人学生が多く、そのプログラムは人気がありました。

そのプログラムに参加することで韓国人との交流ができたり、和が広まったりしました。メンバーと、したいことをしたり、韓国の歴史を学んだり、日本語を教えたりもしました。漢江へ行き、マンウォン市場へ行ったり、図書館で勉強したり、刺身を食べたり本当にたくさんを一緒にしました。

その活動以外でも一緒に会い、勉強したり、食事をしたりすることがありました。計6回の活動でしたが、楽しい時間でありながら語学の勉強、異文化の勉強ができたと感じています。班によって違いますが、私は班のメンバーとは、基本は韓国語で話して日本語を話したい人とだけ日本語を話していました。

そうすることで聞き取りが難しかった韓国語が、頭の中での変換無く、気づけば違和感なく韓国語が入ってくるようになりました。

前期ではOIUで25単位履修しました。留学中にどれだけの単位が取れるかがわからなかったため、自分の頑張れる様に多めに履修しました。そして留学中にはセミナーとキャリアデザインを履修しました。課題提出などがありますので、留学前に担当の先生とよく話しておく必要があります。

生活面について

(例)以下のことを参考に記入してください。

・授業以外の時間は、どのように過ごしましたか。(休日・余暇の過ごし方)

私は初めの頃は、大学内にある留学生用の第1寮で生活していました。第1寮には共同のキッチン、冷蔵庫、電子レンジ、水道、ウォーターサーバー、洗濯機、乾燥機が各階にありました。

そのため、第1寮で生活していた時はルームメイトと自炊を何度かしました。食材は、大学内のコンビニではなく、大学の近くにあるスーパーで買い物をしていました。

しかし、時間によってはすごく混雑するため、ずらして利用することを勧めます。

12月に第1寮の全部屋エアコンチェックのため、第2寮へ引っ越しをしなければいけませんでした。

第2寮は、元々は韓国人が使用している寮ですが、春休み中で帰省している韓国人が多いため、その間だけ留学生は一次的に利用していました。

第2寮は共同のキッチン、冷蔵庫、水道がなく自炊することはできませんでした。電子レンジは1階だけでなく利用するときは2階以上の階の電子レンジを毎回借りていました。

洗濯機、乾燥機は1階にしかないため、時間を考えて利用しないといけませんでした。第2寮の地下にはコンビニがあり快適でした。どちらの寮でも比較的、簡単に食事を済ますことが多かったです。配達も使えますが時間もかかり、お金もかかってしまうのでたくさん利用することはなかったです。

部屋は、第1寮は2人部屋か3人部屋のどちらかでした。私は3人部屋を選択しました。部屋は狭くなく、洗濯物も部屋で干せるほどでした。

第2寮は2人部屋か4人部屋のどちらかで、4人部屋を選択しました。4人部屋になると部屋は一気に狭くなり洗濯物は干せないため毎回乾燥機をかけていました。

第1寮の3人部屋は私含めて日本人が2人とベトナム人の3人でした。3人部屋を希望している国同氏がルームメイトになることが多いみたいです。

第2寮の4人部屋は、4人部屋を希望している日本人が私しかいなかったため、ミャンマー人とモンゴル人と3人で4人部屋を利用しました。第2寮では2人部屋を選択する方を勧めます。4人部屋であると勉強机に光が入りにくく勉強が不便でした。

留学する前に布団を借りることができるため、それを申請することをお勧めします。

私は借りたため、初日から布団で寝ることができましたが、友達はマットレスにタオルをかけて寝るという形だったそうです。布団を買いに行くのもバスを乗って何駅か乗って大きなスーパーで買ったそうです。

その布団も安くなかったです。布団レンタルは5000円弱で6か月分借りれました。返すときも簡単に布団も上質で借りて良かったと思います。

生活寮は、大学内にありますが大学の一番奥、山の上にあります。坂が多くて、なかなかしんどいです。最寄り駅、教室まで歩くと20分弱かかります。

授業がある時は、大学内のシャトルバスが運行していますが、雨、雪が振った時や、授業がないときは運行していません。大学から近いショッピングに行っても大学内でたくさん歩くため大変です。

大学内には郵便局、銀行もあり帰国前に荷物を送る時や、銀行開設、換金が簡単にできて良かったです。換金するとき銀行で行うと手数料がとられるため、レートがいい時やいい場所で行っていました。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	72.8	万円
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	4.8	万円
	海外旅行傷害保険	約	10	万円
	査証（ビザ）取得費用	約	0	万円
	日用品	約	9	万円（1.5万円×6ヶ月）
	食費	約	30	万円（5万円×6ヶ月）
	寮費	約	16.8	万円（2.8万円×6ヶ月）
	水・光熱費	約	0	円（円×ヶ月）
	現地携帯電話	約	1.2	万円（2千円×6ヶ月）
	インターネット	約	0	円（円×ヶ月）
	利用方法 学内で利用・寮で利用・自分の携帯で利用 など			
	（複数回答可。○をつけること。）			
	その他（用途：教科書）	約	1	万円（5千円×2回）
その他（用途：）	約		円（円×ヶ月）	
（医療費、教科書代などあれば）				

滞在中の費用について

韓国で口座を作るとは生活を便利にさせてくれます。韓国で現金を持っている人は少なく、直接相手の口座に振り込むことが主流です。

そのため当初は私も口座を作ろうと考えていましたが、作るために必要な外国人登録書がすごく遅れて発行されたため（その時点では留学生活が半分を切っていました。）私は結局、口座を作りませんでした。

不便な時は、時々ありましたが、口座を使う日数を考えるとあまりなかったため問題くはなかったです。

カードは、日用品用のカード、食費用のカード、娯楽用のカードと分けていましたが、機械によって使えない場所などがあったため、たくさんカードを持って行ってよかったと思います。

現金は学校の敷地内の銀行でクレジットカードがあれば引き下ろせます。しかし、手数料が大きいしなかったです。そのため、レートがいい日を見て明洞へ両替をしていました。

日用品はルームメイトと割り勘していたので費用を抑えることができました。韓国で日用品を買うと言うよりは日本で事前に6か月分購入していたため、韓国で購入することはほとんどなく、さらに費用を抑えることができたと思います。

布団は聞くと今年から貸し出ししていることを知り、私は予め布団を6か月間予約していきしました。

実際に布団を買うよりもリーズナブルなので利用してよかったと思いました。

私はWOWPASSは作らずTマネーを利用していました。WOWPASSはクレジットカードと連携ができるので便利です。

デビットカードのように使うことができます。しかし、私の性格上WOWPASSを作るとそのカード一枚を多く利用したくさん現金チャージをすることになりそうだったため作りませんでした。

口座を作ってしまうと韓国のクレジットカードが作れます。そうするとWOWPASSを使う頻度が更に下がると思います。

留学される方は思っているよりも現金を使うことが多いと考える方がいいです。レートも関係しますが現金を多めに持って行く方がいいと思います。

出発前の準備と現地到着後の流れ（どの様に準備をしましたか。）

過去に行かれた先輩方の報告書を参考に荷物の準備を進めて行ったり、実際に留学していた先輩に聞いたりしました。

そして6か月想像がつきにくかったですが、おおよそお金を考えて準備しました。

留学に必要な書類を余裕を持って準備し、不安なことや、分からないことはすぐに聞くことが大切だと思いました。

出発までに、TOPIKやハングル検定は必ず受験しておいたほうがいいと思います。留学前の実力を確かめられ、留学に備えられると思います。奨学金にも関係するので、ぜひ資格を取得していた方がいいと思いました。

留学中、大変だと感じたことは何ですか。その時にどう対応しましたか。（どう対応すればいいと思いますか）

12月に大統領から非常戒厳が宣布されるという想定していないことが起こりました。その時、大学の先生や韓国の友人から情報を教えてもらい、行っても大丈夫なところと行ってはいけないところなど情報を入手して、慎重に行動するようにしました。

戒厳令が出た直後は、帰国せざる得ないかもしれないと聞き、すぐに両親にも連絡を入れました。

幸いすぐに解除されましたが、その日からどこか緊張感があり、デモもあり1月2月は行ってはいけない場所には近づかないようにしました。

その場所さえ行かなければ、私たち留学生は安全でした。100%安全と言うわけではありませんが巻き込まれることはなかったです。

このとき、自分は海外にいるんだということを理解し行動することの大変さが、分かりました。

ました。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

日本人留学生は多くはいません。本当に数えられるほどでした。

その中でどうしても日本語を使ってしまいたくなると思いますが、

それでもできる限り韓国語を使って会話してほしいと思います。

授業は韓国人と言うよりは韓国語を学びたい外国人留学生です。

韓国人と交流をするためには「言語交換プログラム」に参加することを強くおすすめします。

班にもよりますが、自身の韓国語を高めてくれる場です。チャレンジしてみてください。本当にあっという間の半年間の留学でした。

最初は慣れない環境で辛いと思いますが気づけば楽しい留學生活が待っています。

いろいろな出会いがあり、自分の考えを変えさせてくれる刺激的な日々が待っています。この留学を通して語学は当然ですが、それ以上に貴重な経験を積むことができます。

留学を一度でも考えたことがある人はぜひ挑戦してほしいです。